

Dr Chris Russell (クリス・ラッセル) / Training and development

consultant 教育研修コンサルタント

科学への興味から、1998年に応用物理学の学位を取得。社会経験を1年間積んだ後、修士号取得のため、大学へ戻る。自分が本当に興味を持てるものを発見し、医療用レーザーイメージング分野で博士号取得を決意する。研究経歴としては、博士課程学生、修士課程学生の指導や、政府から資金提供のある「知識転移プログラム」産業スーパーバイザーとして働く。物理学、臨床工学、免疫学、電子工学分野の学者や、NHS(イギリス:国民医療サービス)の臨床医と共に協力して取り組んできた。博士課程やポスドク等を7年間経験した後、新たな挑戦を模索していた。

2007年、クリス・ラッセル氏は研究の世界から移り、研修ビジネスを始める。イギリス中の学者や大学向けに経験に基づいたプログラムを企画を提案し、今ではイングランド南西部でフリーランスで教育研修のコンサルタント業務を行っている。

CRAC/Vitaeにて約10年勤務。「GRAD Schoolと効果的な研究者」プログラムに指導員及びディレクターとして働くとともに、リーダーシップ・イン・アクションのコーチング、「効果的な研究者」「メイキング・ユア・マーク」プログラム、更には学問的インパクトを検索する新しいコース内容の作成に関わる。

彼の興味はリーダーシップ、創造性、研究者の開発など多岐に渡る。上級研究者向けに計画、ビジョン、目標を発展させる取り組みを行っている。

またこれまでのアカデミアの経験で得たスキルを活かして他者を養成し、能力を伸ばすことを楽しみにしている。それはポスドク研究者や若い人たちのグループだけでなく幼い彼の息子に対してでもある。思考、ひらめき、創造性への興味は自身の仕事や人生にまで広がり、他人と自分自身のために、常に新しい学びの方法を模索している。